

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和3年6月28日</p> <p>(宛先) 岡 崎 市 長</p> <p style="text-align: right;">提出者</p> <p style="text-align: right;">住 所 岡崎市日名中町6番地1</p> <p style="text-align: right;">氏 名 酒部建設株式会社</p> <p style="text-align: right;">代表取締役社長 酒部佳直</p> <p style="text-align: right;">(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p style="text-align: right;">電話番号 0564-24-5551</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	酒部建設株式会社
事業場の所在地	岡崎市日名中町6番地1
計画期間	令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06:総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 約44億円
③ 従業員数	44名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【建築物の解体工事】 がれき類⇒再生処理業者に委託し、破碎後再生砕石として再資源化 木くず ⇒再生処理業者に委託し、破碎後チップとして再資源化 混合物 ⇒最終処分業者に委託し、選別後、破碎・焼却・埋め立て</p> <p>【建物新築・改修工事】 廃プラ ⇒再生処理業者に委託し、選別後、燃料・路盤等に再資源化</p> <p>【基礎工事】 汚泥 ⇒中間処理業者に委託し、造粒固化し再資源化</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 統括責任者 事業部長 ↓ 工務部 工務部長 ↓ 工務部技術安全担当 ≪建設廃材処理委託契約書・マニフェスト保管管理≫ ↓ 現場所長 (建設廃棄物管理責任者) ≪建設廃材処理委託契約書・マニフェスト作成≫			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (令和2年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排 出 量	21,019.77 t	t
	(これまでに実施した取組) 令和2年度は大型解体が増えた為、廃棄物の排出が多くなった。 ・解体搬出時に於ける分別を徹底させ、リサイクルを高める。 ・信頼の於ける解体業者に依頼する。 ・法令遵守を徹底させる		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全品目	
	排 出 量	900 t 以下	t
	(今後実施する予定の取組) ・昨年と同様信頼の於ける業者の選定並びに優良認定処理業者の委託量を推進させる。 ・解体現場の分別を徹底しリサイクル向上に努める事。 ・新築工事に於いては原単位排出量削減に努める事。 ・産業廃棄物の重要性と削減を認識させる		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特に解体現場・新築現場に於ける主要3品目 (コンクリート、アスファルト、木材) のリサイクル率向上に努める		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・優良認定処理業者、並びに認定熱回収業者への委託を推進させる。 ・新築現場に於いては出来るだけ現場内に梱包材等持ちこませない等、廃棄物削減に努める		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	21,019.77 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	748.47 t	t
	再生利用業者への処理委託量	21,019.77 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者に於いては細かく分別し、適正に処理をしている業者、並びに信頼の於ける業者に委託させている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全品目	
	全処理委託量	900 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	900 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良認定処理業者、認定熱回収業者への普及に努める。 ・昨年の実績を元に新築工事現場の廃棄物削減に努める。 ・リサイクル率向上に積極的に努めている処理業者の採用を増やす。 ・当社は解体工事が多いので優良解体業者の採用に努める。 ・処理業者のみならず職員のOJTに努め、コンプライアンスの重要性を認識させる。 ・新築現場に於いては原単位排出量削減に努める。 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。